

研究課題名	被爆者の放射線被曝と動脈硬化ならびに循環器疾患の関連性についての研究
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所 再生医療開発研究分野 教授 東 幸仁
研究期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
対象者	2003年4月から2021年12月の間に、広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センターにおいて動脈硬化の検査（頸動脈エコー検査あるいは Cardio Ankle Vascular Index）を受けた症例。
意義・目的	本研究は、放射線被曝と動脈硬化ならびに循環器疾患について、被曝線量データと長年にわたる被爆者検診の記録をもとに検討するものです。特に動脈硬化は加齢が重要な促進因子であり、また、高血圧、脂質並びに糖代謝異常の存在も強い関連性を有します。この点、被爆者は放射線被曝の時点から長年経過し、高齢化が進んでいるとともに、高血圧・代謝異常を有することが多くなっています。そのような被爆者において動脈硬化の程度と放射線被曝との間に関連性がなお認められるか否かを明らかにすることが本研究の主目的です。そのうえで、高血圧・代謝異常等の併存症の有無、性別並びに肥満の有無などにより放射線被曝と動脈硬化の関連性に差異があるか否かについても検討します。これらによって、放射線被曝と動脈硬化の関連性の有無に新たなエビデンスが期待できます。
方法	<p>広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センターで動脈硬化の検査を受けられた患者さんの診療録(カルテ)情報をもとに、患者背景を調査します。</p> <p>○利用する情報</p> <p>被曝線量データ</p> <p>取得した試料や試料・情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の番号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。上述のように誰のものか分からないように加工された情報及び対応表は、別々にして直接手渡しによって、広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センターに研究機関の長 田中純子の許可のもと提供し、解析に用いられます。</p>
研究の実施体制	研究代表者 広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター 部長 佐々木 伸夫
試料・情報の管理責任者	広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター 部長 佐々木 伸夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5802

原爆放射線医科学研究所 再生医療開発研究分野 教授 東 幸仁